

第31回林忠彦賞

Hayashi Tadahiko Award

作品募集

2022年 12月31日(土)必着!!

社会は心を撃つ写真をさがしています

Who is the next?



第30回(前回)受賞作「東京 二〇二〇、二〇二一。」初沢 亜利

時代を物語る写真を撮り続けた林忠彦。
林の精神を継承し、未来を切り開く
写真家を見いだすことを目的に募集します。

【賞】

ブロンズ像(菅戸千津子作「爽」)及び賞金100万円

【選考委員】

大石 芳野 写真家
笠原美智子 (公財)石橋財団アーティゾン美術館副館長
河野 和典 (公社)日本写真協会出版広報委員
小林 紀晴 写真家
有田 順一 周南市美術博物館館長 (敬称略・五十音順)



林 忠彦(1918～1990)

山口県周南市生まれ。代表作「太宰治」「織田作之助」らの作品で認められ、20誌以上の雑誌に発表する売れっ子作家となる。「日本の作家」「カストリ時代」など次々と発表。一方で日本写真家協会の母体となる「写真家集団」発足に参加、秋山庄太郎らと二科会写真部を創設するなど、プロ・アマを越えて写真家の育成にも力を注いだ。

■新型コロナウイルス感染拡大など、今後の状況によっては変更等も考えられます。最新の情報はホームページでご確認ください。

主催 / 公益財団法人周南市文化振興財団 共催 / KRY山口放送 後援 / 読売新聞社 協力 / 富士フイルム株式会社